

まちかど

アルバム



雨滝滝開き祭

国府町雨滝

6月6日(土)、「日本の滝百選」に選定されている雨滝で、本格的な夏の観光シーズン到来を告げる「雨滝滝開き祭」が開催されました。当日は、10年ぶりとなる護摩法要が行われた後、国府東小学校児童や「大茅民踊グループ」による雨滝小唄、「神垣手笠踊り保存会」の手笠踊り、「因幡の傘踊り保存会」の傘踊りなどが、大勢の観光客の前で披露されました。

息ぴったりの演奏を披露

鳥取砂丘オアシス広場

世界砂像フェスティバル開催期間中の5月25日(月)、「福部の日」と題したイベントが開催され、福部中学校吹奏楽部の生徒が芸能ステージに出演しました。新入部員が入って間もない中、每晚遅くまで練習に励み、本番に臨んだ生徒たちは、大勢の観客が見守るステージで堂々とした演奏を披露。このたびの出演は、音楽の楽しさを肌で感じ、自信がつくよい機会となったようです。



ローリーさんの料理教室

佐治地区保健センター

佐治地区保健センターで5月30日(土)、佐治町在住の福安ローリーさんを講師に、料理教室が開催されました。この日の献立は、ローリーさんがアメリカの祖母から教わったという秘伝の鶏肉料理。味は濃いかと思ったら、食べてみると意外にあっさりしていて、肉が苦手という人も思わず手が伸びていました。参加者からは「ぜひ、家からも作ってみます！」という声が聞かれました。



新緑の鷺峰山を満喫

鷺峰山

6月6日(土)、鹿野町中央公民館と地元スポーツクラブ「鹿の助」共催の鷺峰山登山が行われ、地元住民ら44人が参加しました。途中、休憩を取りながら、約2時間半かけて山頂に到達。あいにくの天気で日本海や湖山池は望めませんでしたが、参加者は新鮮な空気と新緑を満喫したようでした。また、「毎日見えていた山なので、1度は登りたかった」という人も。この鷺峰山登山は、秋にも開催する予定です。





見て！コイが泳いでるよ

気高町体育館

6月3日（水）、浜村地区ふれあいのまちづくり協議会と浜村保育園の「こいのぼり祭り交流会」が開催されました。園児たちは、協議会メンバーにちまき作りを教わった後、一緒に「鯉のたきのぼり」というゲームを楽しみました。向かい合ってつないだ手を上下に動かし、紙で作ったコイを隣へ送るこのゲーム。班ごとに分かれての対戦は大いに盛り上がり、会場では園児たちの「もう1回！もう1回！」という元気な声が響いていました。

じゃんけん列車で国際交流

青谷小学校北校舎

旧青谷町時代から交流のある中国・太倉市たいそうの代表団が5月29日（金）、青谷小学校北校舎を訪れ、児童と交流しました。地元「小畑つくし会」の傘踊りや「勝部岩力かちべがんりきおどり保存会」による踊り、そして、太倉市の「五洋系竹楽団ごようしちく」による演奏が披露された後、子どもたちと代表団とのじゃんけん列車がスタート。参加者は、「じゃんけん」という共通語でコミュニケーションを取ることができ、とても楽しそうでした。



釣り大会で「あゆの町」をPR

千代川

6月7日（日）、河原町で「あゆ釣り大会」が開催されました。これは「あゆの町 河原」をPRしようと毎年開催されているもので、今回で12回目。会場となった千代川ちよがわの出合橋周辺には、腕自慢の釣り人18人が集結し、おとりのアユで誘って釣り上げる「友釣り」で、誰が一番数多く釣るかを競いました。競技終了後、釣れたアユは塩焼きにして、関係者らに振る舞われました。

手作りおもちゃに挑戦

智頭街道

5月31日（日）、智頭街道商店街で「因幡の手づくりまつり」が開催されました。これは、手先が不器用と言われる現代の子どもたちに物作りの楽しさを伝えようと、県下の大学生が中心となって企画したもので、今回で13回目。会場には、竹笛やとんぼ玉、消しゴムはんこなど、物作りが体験できる52講座が設置され、親子連れらが真剣なまなざしで取り組んでいました。



世界砂像フェスティバル 感動のフィナーレ

鳥取砂丘オアシス広場

2009鳥取・因幡の祭典のオープニングイベントとして、4月18日に開幕した世界砂像フェスティバル。目標としていた20万人を大きく上回る35万人の入場者を集め、閉幕しました。最終日の5月31日（日）には、高さ8㍎、幅30㍎のシンボル砂像の前で、地元合唱団や運営スタッフが「ふるさと」を大合唱。感動のフィナーレを迎えました。鳥取砂丘では、9月18日（金）から砂の美術館第3期展示がスタートします。